（課題名）透視パルスレートの調整による脳動脈瘤コイル塞栓術での被曝量低減の試み

本調査研究の概要を以下に示します。【対象】に該当すると思われる方で、本調査研究に関するお問い合わせや調査の対象となることを希望されない場合は、担当医にお申し出ください。

【本調査研究の目的】
当院では、脳血管内治療における被曝量を低減させる為に、パルスレートと呼ばれる項目を調整しています。
パルスレートを調整していなかった過去のデータとの比較するために、パルスレートを調整した状態の治療における被曝量や透視時間などのデータを集積し、この試みが被曝量の低減にどれほど有用なのか検証することが本研究の目的です。

【対象】
当院でコイル塞栓術を施行した脳動脈瘤の患者さん（破裂例、未破裂例ともに対象です）

【調査項目】
・年齢
・性別
・血管撮影装置で自動的に測定される被曝量（面積線量、空気カーマ、透視時間）
・脳動脈瘤のサイズ、形状、部位
・塞栓率、使用コイル数、ステント使用の有無
・手術時間
・合併症、再治療の有無、治療後 3 ヶ月での後遺症

なお、必要な情報のみを統計資料として集計しますので、患者さんのお名前など個人を特定できる情報が明らかになることはありませんので、ご安心ください。

【研究期間】
承認日から 2023 年 3 月 31 日（調査状況により調査期間を延長する可能性があります）

【研究機関・組織】

関西労災病院

【研究代表者】
清水　豪士
関西労災病院脳神経外科
〒660-8511　兵庫県尼崎市稲葉荘 3-1-69
TEL: 06-6416-1221（代表）
FAX: 06-6419-1870（代表）
E-mail : takeshi.shimizu32@nsurg.med.osaka-u.ac.jp

【当院の研究責任者】
豊田　真吾
関西労災病院　脳神経外科
〒660-8511　兵庫県尼崎市稲葉荘 3-1-69
TEL: 06-6416-1221（代表）
FAX: 06-6419-1870（代表）
E-mail : stshto@aol.com